

スプレー缶回収方法の変更は

今の方法で運用したい

問 ゴミなどの回収は、住民が最も身近に感じる公共サービスのひとつです。昨年4月から、スプレー缶やカートリッジボンベの収集方法が変わっています。空き缶と一緒に指定袋に入れて出せば回収されていたのに、わざわざ公民館や役場まで持っていくかなければなりません。高齢者など、不便を感じているとの声を耳にします。また、公民館の回収の中に、タバコの吸殻、ライター、花火の燃えかす、ゴミなどが捨てられた事もあります。公民館周りは、子どもが遊んでいますし、スプレー缶のガスが残っていたら危険です。回収場所・方法の変更などについてお聞きします。

答 甲能地域振興課長

環境省からスプレー缶等を



今村 桂子 議員

(写真はアクリル板を通してため不鮮明になっています)

ごみとして排出する時は、穴を開けずに中身を使い切り、別収集するとの通達がありました。市販の透明なビニール袋に入れて出してもらおうようにしたところ、風で路上に散乱し、周囲に悪影響を及ぼす結果となりま

した。そこで、区長のご理解ご協力の下、専用ボックスを各公民館など町内50カ所に設置し、現在の収集方法を行っています。今のところ、子どもたちがいたずらをしている、触ってけがをしたなどの報告は受けていません。

答 平松町長

お聞きになった実情をもとに、当該区長と相談しながら再検討することは可能だと思いますが、全体としては今の方法で運用していますので、ご協力願いたいと思います。

コロナ

ワクチン接種準備の状況は

ワクチンの供給を懸念

問 医療従事者へのワクチン接種が始まり、4月から65歳以上が接種予定です。各自自治体では、接種の流れのシミュレーションが行われるなど準備が進んでいます。ワクチン接種業務委託料約1億4千万円が可決されていますが、委託の詳細・接種の流れ・現在の状況・課題などについてお聞きします。

答 今泉健康増進課長

オイコスで行う集団接種と各医療機関で行う個別接種があり、個別接種の委託内容は、対象者の確認や予診、ワクチン接種等です。その他、町内医療機関と協議し準備を進めています。最大の懸念は、ワクチンの供給です。供給が滞れば、接種計画に多大な影響が出ます。また、期間が長引けば、町内医療機関への負担も大きくなります。

ここが聞きたい!

一般質問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をだし、報告や説明を求めることです。

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。



答弁中の平松町長

コロナ

今後の行事のあり方は

今しばらくは耐える時

問 今年度は、校区も行政区も、行事や伝統文化の催しの中止を余儀なくされ、達成感のない寂しい時を過ごした感じがします。実態のわからない感染症の為、まずは町民の命を守るという町長のお考えのもと、中止の決断はやむを得ないと思います。

イベント、スポーツ観戦等は制限と対策を行い実施し、

緊急事態宣言により、感染者が減少に向かい落ち着きつつあります。

また、ワクチン接種の開始により、今後行事等の状況は変わる可能性があり、開催を待ち望んでいる町民も多く、楽しみにしています。

校区や行政区では、年間行事の開催に向けた準備が始まりますが、今後の行事のあり方について、どのように考えていますか。

答 平松町長

コロナ感染の蔓延により、自分たちが行ってきた活動が制限される中で不安や焦りは十分理解できます。ただ、それぞれの団体の活動に対し、行政が方針決定や指示を出すのはいかなものでしょうか。町の状況判断については、きちんとお伝えしたうえで、それぞれの団体には自分たちの考えの中で「こうやるんだ」という判断をしていただき、町としては、それまで奪うつもりはありません。

い方法で、新たな形を、様式を、システムを検討され、それに挑戦される団体については、支援してまいります。

コロナが終息しないまでも、行動制限が緩和される時は来ます。皆さんと共に明るい未来が来ることを信じて、今しばらくは、耐える時だと考えます。



川口 満浩 議員

(写真はアクリル板を通してため不鮮明になっています)

先輩たちが築かれた理念を忘れることなく、それぞれの団体、組織が今後も形を変えながらも自主活動されることを強く望みます。町は、そのお手伝いをするのが最良のまちづくりと繋がると確信しています。皆さんと意見交換を行い、自主活動を阻害しな

